

ながやまっ子

校訓 「広げようやさしい心 きたえようじょうぶな体 育てよう学ぶ力」

龍ヶ崎市立長山小学校学校だより 令和6年10月25日 No.11 文責 校長

スポーツフェスティバルを終えて ～悔しさを共有して成長の種に～

10月24日、多くの保護者の皆様、地域の皆様に見守られながら、令和6年度スポーツフェスティバルを開催することができました。今週の天気予報は雨の表示がつく日も多く、当日の天気やグランドコンディションなど心配もありましたが、体育主任の熱い祈りが功を奏したのか、全般的には涼しい気候の中で開催できました。競技を通して、満足そうな笑顔を見せる子、負けた悔しさから涙を流す子など様々でしたが、子供たちはこれまでの練習の成果を発揮でき、充実した1日になったことと思います。

学校教育の中で、スポーツフェスティバルを保護者の皆様に見ていただくことには、どんな意義があるのでしょうか。多くの方に見ていただくことを目標に努力を重ねることも、その1つだと思います。しかし、授業参観や発表会ではない「競技」を見ていただくことの意義として、悔しさを共有することがあるのではないかと思います。一生懸命走っている我が子が途中で抜かされてしまったとき、自分のことのように胸が苦しくなります。子供は、悔しさとどのように向き合ったら良いのか分かりません。だからこそ、「最後まで一生懸命走り通して、感動したよ」「次の持久走に向けて、一緒に練習しよう」など、悔しさの乗り越え方を伝えていただきたいと思うのです。子供たちは成長する過程で、頑張ったけれど思い通りの結果が出ないことにたくさん出会います。悔しさを乗り越え成長の種にかえることができるよう、温かく見守っていただきますようお願いいたします。

前日の準備では、PTAの皆様にも、雨の中にも関わらずテント設営へのお力添えをいただきました。また競技終了後も、多くの皆様がボランティアとしてテントの片付けやサッカーゴールの設置にご協力くださいました。お忙しい中ご協力をいただき、本当にありがとうございました。当日の運営では、観覧席やトイレなどご不便をおかけしたところもあったと思います。振り返りをもとに、次年度の課題として検討していきたいと思っています。

